

町田市長 石坂 丈一 様

抗議文

市長におかれましては、日頃から市民のために活動していることに敬意を表します。昨日の請願審査に至る過程につきまして、町田市政を考える会・草の根（以下草の根）はいささか腹に据えかねることがありお手紙いたします。

（昨日の総務常任委員会で請願①町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会を開き、町田市議会議員の期末手当の適正な金額を検討すること』を求める請願は継続審議となりました。）

総務部 職員課において、請願の主旨（願意）においては、草の根がこの間議員の期末手当の件について疑問を呈していたことについてよくよく承知していたにもかかわらず、『町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会』（以下報酬審議会）の資料請求の際になにも教えることなく、昨日委員会審査の際に、報酬審議会が議員の期末手当について審議をしないものであると説明しています。草の根の請願についてその内容の主旨が実現できない文面であることを承知しながら、委員会で採択がされないという結論にいたるように情報をかくしておりました。

この請願にかけた584名の市民の思いを踏みにじる行為であると断言いたします。

専門的なことについて市民がわからないのをいいことに「知らしむべからず」を職員課を挙げて実行したものだと思います。私たち草の根にこのことを教えてくれた職員は誰一人おりませんでした。課長以下全員が、「市民には知らしむべからず集団」であることがよく判りました。

次に議会事務局です。議長に対して、請願の主旨（願意）を説明するのが仕事です。もし、市民から受け取ってそのまま渡すだけならばメールボーイとなんら変わりません。そんなはずはありません。担当の部局に問い合わせるはずです。又は、聡明なる議会事務局職員は、議員の期末手当と報酬審議会の役割について先刻承知していたかも知れません。事情を知っていて私たち市民には黙っていた・・・これも納税者、もしくは有権者には「知らしむべからず」を地でいっていると言わざるを得ません。



もし、そうであるならば、職員課も議会事務局も、市民に背を向け、議員のために働いている存在としか思わざるを得ません。できれば、来月以降私たち納税者ではなく、給料は議員から支払ってもらってください・・・と思うほどです。

議員と情報を共有し、市民には情報を隠す、そうやって自らの身を守ろうとする心根が透けて見えています。職員課を監督している総務部長に対しても同じ疑念を抱いております。

市民が市民の権利として請願を出す、行動を起こすことは、本当に勇気と、根気と努力が必要です。たくさんのハードルをこえて、少しでも町田市がよくなることを願い、市民は無報酬で行動しています。賛同する584名の市民の心情を職員たちはどう受け止めるのでしょうか。

そして、肝心の市長はこの事についてきちんと指導すべきであり、私たち草の根には謝罪の念を文書で示していただきたいと強く思います。

また議長においては議会事務局職員に対してしかるべく指導すべきと考えます。文書にてご返事お願いいたします。

2011年3月16日

町田市政を考える会・草の根

代表 小林 美知



〒194-204

町田市小山田桜台 2-15-42-303

TEL090-6134-0629